

法務大臣政務官PT報告書(概要)

「日本語・生活学習プログラム(仮)」の創設に向けた検討課題と留意事項について
～秩序ある共生社会の実現のための外国人の円滑な社会適応を目指して～

1 はじめに(P Tの目的と検討)

・法務大臣政務官の強力なリーダーシップの下で学習プログラム創設に関する検討を進めることにより、政府全体での検討を加速

⇒ **プログラムの在り方に関する一定の方向性、検討課題・留意事項を整理**

2 学習プログラム創設の目的

○体系的・効果的な学習教材の提供・適切な学習動機付け
→ 外国人が**責任ある社会の一員として行動**

○**国の責任**において体系的なプログラムを用意
→ **地方公共団体の負担減、受入れ機関による学習支援の充実**

外国人の円滑な社会適応を通じ
秩序ある共生社会の実現を目指す

3 一定の方向性、検討課題と留意事項

(注) 報告書本文においては、一定の方向性を示しつつ、検討課題や留意事項を「～ではないか」、「～としてはどうか」などと記載

(1) 学習プログラムの内容等

○ 学習内容

- ・「日本語学習」と「生活学習」で構成
- ・入国前・入国直後：**基礎的**な日本語＋生活上のルールやマナー
- ・長期間の滞在・永住等希望者：**より高度かつ広範囲**の事項
- ・学習量：**入国目的の活動との両立が可能な範囲**とするよう配慮
- ・**ライフステージに合わせた内容**を選択可能とする仕組み …等

○ 受講対象者

- ・**中長期の在留を目的とする外国人**を幅広く対象
- ・高度人材等に対するプログラムの在り方の検討
- ・**生活オリエンテーション等の機会が乏しいと考えられるグループ**（「家族滞在」での在留者、受入れ機関がない個人事業主等）のプログラムを充実
- ・学習が義務付けられている他の制度との関係を整理 …等

○ 学習方法

- ・**ICTを活用した学習環境の整備**（入国前学習等の環境）
→ AI等を活用した双方向型(インタラクティブ)+理解度チェック
- ・学習効果の観点から、**対面講習の実施・参加促進**
- ・集中的な初期学習のため**入国前及び入国後一定期間以内に受講**
- ・**ライフスタイルに応じた学習方法(ICT・対面等)の選択**が可能な環境整備
- ・**認定日本語教育機関**や**登録日本語教員**の活用 …等

(2) 在留審査への反映

- ・**早期受講の動機付け**とする仕組み
- ・**永住許可申請、一定の長期滞在**を目的とする在留申請の際は**受講を許可要件**とすることを検討（永住許可・帰化の審査においては理解度も確認することを検討）
- ・**認定日本語教育機関等の教育課程修了、試験合格**により日本語熟達度確認
- ・**受講状況を管理するためのシステムを構築** …等

(3) 地方公共団体との連携

- ・地域の事情・特性に即した内容(地域ごとのルール・文化・方言等)の学習機会を得るため、**地方公共団体と連携**
- ・**地方公共団体が行う講習(対面式等)をプログラム内の取組に位置付け**
- ・対面講習等の**取組を国が支援** …等

(4) 民間団体の活用

- ・外国人散在地域において、**国が民間団体に委託して対面講習を開催**

(5) 受入れ機関の役割

- ・就労目的の外国人を受け入れる機関に対し、**外国人・帯同家族に対する学習支援を一層強力に要求**

法務大臣政務官PT報告書（概要）

「日本語・生活学習プログラム(仮)」の創設に向けた検討課題と留意事項について
～秩序ある共生社会の実現のための外国人の円滑な社会適応を目指して～

3 一定の方向性、検討課題と留意事項（続き）

（6）試行期間等

- ・**十分な試行期間**を設定
→試行結果について**有識者によるフィードバック**を受けながら本格運用に移行
- ・本格実施以降もフィードバックを重ね、**学習内容や実施方法等について見直し**

（7）関連する学習支援施策の有効活用等

- ・**既存の仕組との整合・有効活用**を検討
- ・海外における日本語教育の充実のための**各実施事業団体の体制強化等**…等

（8）更なる検討が必要な事項

- ・**プログラムの効果的な周知方法**（入国前・入国時等）の検討
- ・受講対象年齢、障がいによる受講困難者への配慮の在り方、既に在留中の者への適用等、**学習プログラムの詳細に関し検討すべき課題あり**
→**関係省庁との協議、各方面からの意見も聴取しながら、十分な検討を行った上で制度設計**

4 おわりに（短期的対応から長期的・発展的対応）

◎学習プログラムは、外国人との秩序ある共生社会を実現するための社会基盤（インフラ）となり得るものであり、丁寧な制度設計を行う必要がある一方、現下の喫緊の課題であることから、できるだけ早期に運用を開始することもまた重要

- ⇒ **実施可能なところから運用を開始した上で充実・改善**
※短期的にはICT活用等により基本的・共通の基盤を整備して運用開始

◎円滑な社会適応のための理想は、可能な限り効果の高い学習方法・早期学習

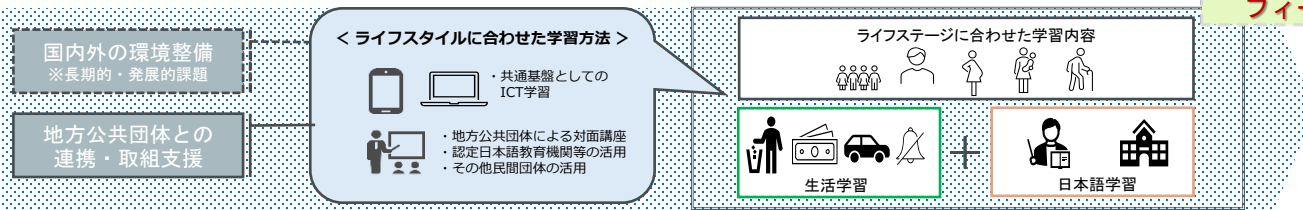
- ⇒ **長期的・発展的課題として、対面学習・入国前学習の環境整備等を追求**

◎外国人の受入れ人数の一層の増加を踏まえた役割分担の検討が必要

- ⇒ **外国人の受入れによる裨益の観点から、受入れ機関の役割の在り方を含む踏み込んだ検討**

社会適応を円滑化し、国民の安全・安心を確保しながら、外国人が活躍できる環境の整備に貢献できる学習プログラムへ

フィードバック・必要な見直し



外国人の円滑な社会適応
秩序ある共生社会の実現